

新日鉄とPOSCOのさら

POSCOが創立40周年記念式典を開催

韓国を代表する製鉄会社であり、当社と戦略的提携契約を締結している(株)ポスコ(以下POSCO)は、4月1日、韓国・浦項で創立40周年を記念して式典を開催した。同社代表取締役会長の李亀澤氏は、記念演説で「産業化の時代、POSCOが祖国のために使命感を持って成功の歴史を描き続けたように、今後そうした理念を、世界を舞台に発展させ、人類社会の発展のためにグローバル化を継続・推進しよう」と強調した。また、式典には当社会長の三村明夫がビデオによる祝辞を寄せた。

POSCOは、1968年4月1日に浦項総合製鉄(株)として発足。1973年に浦項製鉄所を開業して以来、韓国の経済成長を牽引するとともに、アジアを代表する鉄鋼メーカーの一つとして世界で大きな存在感を示している。新日鉄は、同製鉄所の建設・立ち上げに協力して以来、技術交流など

を継続してきたが、2000年8月に両社の株式の相互保有も含めた戦略的提携契約を締結。各部門にて時々の環境ニーズに応じて戦略的提携を推進してきた。

2006年10月には、両社で株式追加保有を含むさらなる戦略的提携の強化に合意し、その後、具体的施策について検討、本年1月には還元鉄の供給と乾式ダストリサイクルに関する共同事業を推進する合弁会社を設立している。



POSCO創立40周年記念式典の様子

ビデオによる祝辞より

両社のWIN-WINの関係をさらに発展させよう

新日本製鉄(株) 代表取締役会長 三村 明夫

POSCO創立40周年誠にありがとうございます。
 POSCO40周年の歴史は韓国の経済成長の歴史そのものであり、今日の韓国経済発展の原動力だと思えます。
 40年という短期間で世界的な優良企業になられたことは、朴泰俊名誉会長をはじめとする歴代経営トップの方々のご卓越した指導力と、全職員の皆様の多大なるご努力があってこそ成し遂げられたものと深く敬意を表します。
 弊社は、浦項製鉄所の建設・立ち上げに協力して以来の

パートナーであり、さらに1998年より資本関係を含めた戦略的提携を開始し、本年チェジュ島でその10周年の節目を祝いました。40年にわたる両社の信頼関係を基盤として、今後も激動する世界鉄鋼業界において、リーディングカンパニーとして共に成長していくことを強く願っています。現在では、海外での新たな連携の芽もあり、それを共に育てて、WIN-WINの関係を発展させていくことを強く望んでいます。

新日鉄・POSCO 共催

「ビューティフル・フレンズ・コンサート」 —— 満席の紀尾井ホールに響き渡る惜しみない拍手

4月9日、紀尾井ホール(東京都千代田区)で「ビューティフル・フレンズ・コンサート」が開催された。本公演は、日韓文化交流を促進して相互理解を深めることが大切との共通認識のもと、新日鉄とPOSCOの戦略的提携の一環として行われる初の音楽メセナ活動だ。2009年には韓国で紀尾井シンフォニエッタ東京の弦楽アンサンブルによるコンサートを実施する予定であり、今後も文化面において相互交流を継続していくことを目指している。

ビューティフル・フレンズ・コンサートは、障害のある方々の支援を目的とする韓国の(社)ビューティフル・マインドの協力を得て、両社が共同で開催した。今回、公演を通じて集まる後援金は社会福祉法人東京ヘレン・ケラー協会と日本国際飢餓対策機構に寄付される。

当日は、POSCO会長の李亀澤氏、当社会長であり(財)新日鉄文化財団理事長の三村明夫、社長の宗岡正二をはじめ、両社の関係会社や招待された方々で800席の大ホー

なる交流を目指して



お客様をお迎えする両社幹部



ハートハート・チェンバー・オーケストラ



辻井 伸行氏



イ・ヒア氏



司会のユン・ソナ氏(左)と出演者

出演者

- チューン (ヴァイオリン)
1970年ソウル生まれ。1984年ニューヨーク・フィルハーモニー・オーディション優勝。1985年アспен・ミュージック・コンクール優勝。
- ペ・イルファン (チェロ)
1965年ソウル生まれ。梨花女子大学音楽学部管弦楽科教授、韓国飢餓対策機構の音楽大使、(社)ビューティフル・マインド総括理事を務める。
- イ・ミンチョン (ピアノ)
建国大学教授、韓国フェスティバルアンサンブル、ソマ・トリオのメンバーとして活動。
- 辻井 伸行 (ピアノ)
1988年東京生まれ。1998年10歳の時、三枝成彰スペシャルコンサートで本名徹次指揮、大阪センチュリー交響楽団と共演デビュー。2005年第15回シヨパン国際ピアノコンクールで「批評家賞」受賞。
- イ・ヒア (ピアノ)
1985年ソウル生まれ。先天性の障害により、両腕の指が2本ずつしかなく、膝下の足がない。5歳よりピアノを始め、7歳で全国学生音楽コンクール最優秀賞受賞。1994年障害克服大統領賞受賞。現在、さまざまなチャリティー公演や放送などで活躍。日本でも母親手記『二本指のピアニスト』(新潮社)が出版され話題に。
- アンサンブル・イラン (カヤグム)
2006年結成。韓国固有の伝統的楽器カヤグム(伽耶琴)のアンサンブル。韓国・人間文化財のムン・ジェスックら親子4人の家族アンサンブル。
- ハートハート・チェンバー・オーケストラ
視覚障害者の団員10人と非視覚障害者の客員8人で構成されている室内管弦楽団。演奏者すべてが韓国国内または海外でプロとして活動。
- キム・インヘ (ソプラノ)
声楽家として活躍する一方、ソウル大学教授として後進の指導に当たる。
- 樋口 達哉 (テノール)
1998年ハンガリー国立歌劇場で『ラ・ボエーム』ロドルフォ役でヨーロッパデビュー。イタリアを中心に各地で活躍。二期会会員。

ルは満席となった。

公演では、日韓で活躍する女優のユン・ソナ氏が司会を務め、世界で活躍するテノール歌手の樋口達哉氏やヴァイオリニストのチューン氏、視覚障害のある演奏家を中心としたハートハート・チェンバー・オーケストラや、手足の

障害を乗り越えて活動しているピアニストのイ・ヒア氏、視覚障害を乗り越えて活躍するピアニストの辻井伸行氏などによる演奏が披露され、観客は惜しめない拍手を送った。またアンコールでは会場が一体となって韓国の『故郷の春』と日本の『ふるさと』を歌い、感動を分かち合った。

両国の相互理解と文化交流が深まることを期待

POSCO 代表取締役会長 李 龜澤氏

当社と新日鉄の関係は企業のアライアンスではありますが、人と人との信頼関係があってこそ一層向上するものです。この10年間で形成された信頼関係を基盤に、さらに両社の関係を強固なものとしていきたいと思っております。

今回の公演は、音楽的・芸術的価値以上に、温かい音楽会だったのではないのでしょうか。今後もこうした交流を重ねていくことで、両国の相互理解と文化交流が深まることを期待しています。



両社の共同作業の一つの成果として実現した音楽文化交流

新日本製鉄(株)代表取締役会長・(財)新日鉄文化財団理事長 三村 明夫

10年間推進してきた当社とPOSCOとの共同作業の広がり具体例の一つとして、コンサートの開催という形を生み出すことができました。

今回の公演では、韓国の伽耶琴(カヤグム)や笛が日本の琴や笛とよく似ており、大陸から伝わった鉄づくりはもちろん、音楽面でも韓国が文化の先輩であるという印象を強くしました。演奏も素晴らしく、勇気を与えてもらった音楽会でした。

今後もこのような音楽交流を継続していきたいと考えています。